

心ゆたかに



小中一貫教育目標「自分らしくともに かがやく」 重点目標「自分のコトバを とどけよう」

～コミュニティ・スクール6年目～

富士見台小学校がコミュニティ・スクールとなって6年目を迎えます。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」が設置された学校のこと、「地域とともにある学校」への転換を図り、学校と地域の皆さんなどが力を合わせて特色ある学校づくりを進めることができる仕組みです。富士市では、富士川第二小学校(現 富士川第二小中一貫校)からスタートし、今年で市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなりました。



本校は年々、子どもの数が減少してきています。私が教頭として赴任していた令和2年度と比べましても 73 人減少しています。それとともに教職員の数も減少し、学校内外で手が行き届かない整備箇所がありました。けれども、コミュニティ・スクールに指定される以前から、「チーム富士見台サポーター」の皆さんの支えにより、過ごしやすい学校環境が保たれています。また、サポーターに名を連ねていなくとも、登下校中の「ながら見守り」等にご協力いただいている保護者・地域の皆さんもいらっしゃいます。本当にありがたいことです。

先日の朝の登校時の見守り中のことですが、ごみ置き場がカラスに荒らされて歩道に生ごみが散らばっていました。子どもが一度車道に下りなければならぬくらいに散らかっていましたが、登校の見守りをしてくださった地域の方が、ご自身の町内のごみ置き場ではなくとも、そこを片付けてくださいました。ほんの短い時間でしたが、一緒に作業をしながら心が温かくなりました。このように、すてきな方がいらっしゃる富士見台地区ですので、学校も地域とともに、より素敵になると思います。

昨年度から、子どもたちの代表者も「学校運営協議会」に参加し、学校づくりに一役買っています。みんなで知恵を出し合って、手を取り合って、日々過ごしていきたいです。(校長 藤森 三奈)



さよならアスレチック

40年以上にわたって親しまれてきたアスレチックですが、木材部分が古くなり、接続部分の鉄材も反ってきてしまいました。子どもたちが危険な事故にあわないよう、現在は使用できなくなっています。

すまいる委員会、学校運営協議会でお話をさせていただき、今年度中に撤去する計画を進めています。今後、撤去前に『お別れセレモニー』をしようと考えています。詳細が決まりましたら、またお知らせいたします。

いつまでも交通事故のない富士見台小に

市内で、路上駐車が関係する交通事故が続いていると連絡がありました。幸い、本校で事故の報告はなく安堵しておりますが、駐停車している車両を避けるために児童が車道へ出て事故に遭う、停車車両の横を抜けていった車が横断歩道上の児童と接触する等の事故が起こっているそうです。

本校の正門、西門前に停車できそうなスペースがありますが、登下校時の児童の安全を最優先し、駐停車をご遠慮いただくようお願いします。また、正門側駐車場は、けが等の申し出のあった許可車のみ進入できます。子どもたちが門を通過する際、非常に危険ですので、校内の徐行にもご配慮ください。

「自分の命は自分で守る」意識を高める教育をしておりますが、我々大人も、子どもの安全につながる行動をとっていきたくと思います。ご協力、よろしく願いいたします。